

～ 加東市活性化(観光事業を中心とする) ～

活動の様子



取り組む課題

観光を通じた地域活性化



本学(学生)の役割

現地調査を通じて加東市の課題を理解し、その解決のための施策を提案すること。

企画・活動概要

加東市の地域活性化を「観光」を通じて活性化するために、加東市内の観光関連施設等を対象にフィールド調査を実施。そのうえで、活性化施策の企画・提案をおこなった。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

ゼミを2つのチームに分け参加した。それぞれのチームが、それぞれの視点で企画をまとめ、報告・提案まで行きつくことはできた。一方で、学生にありがちな「自分たちの企画は正しい。わからないほうがおかしい。」という思い込みが客観的に認められなかったことを通じて、物事に「冷静かつ直、さらに真摯に向き合う大切さ」を感じることができたのではないかと考えている。



経緯・背景・目的

加東市関係者から企画の趣旨説明を受け、ゼミ内で事前準備をおこなったうえで、現地調査をおこなった。現地調査は、学内および本企画に参加した他大学のゼミと共同でおこなった。その結果を踏まえ、学生視点での企画を立案して報告・提案を行うこと。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
経営学科
教授
井上芳郎(イノウエ ヨシロウ)

<専門・担当科目等>
アントレプレナーシップ

<関係者・企業等>